

室生ダム貯水池においてアオコの発生を確認

独立行政法人水資源機構室生ダムにおいて、8月8日の職員による巡視の結果、藍藻類ミクロスティス等によるアオコの発生を確認しましたので、早急に以下の対応を行います。

1. 概要

■アオコの発生の確認

職員の巡視により8月8日に確認しました。

■アオコを構成する藍藻類

ミクロスティス等

■発生場所及び規模

ダム堤体付近（ダム幅×10m程度）、深谷川網場上下流付近（50m×10m程度）、深谷川上流端（30m×20m程度）〔別添資料1 参照。〕

2. 対応

①巡視の強化

ダム貯水池のアオコ発生状況の監視を強化しています。

②追加（臨時）水質等調査の実施

今後、規模の拡大が見られた場合は、プランクトン調査を始めとした臨時の水質調査を行います。

また、調査結果等については、水道事業者等の関係機関に伝達するとともに、ホームページ上で速やかに公表します。

水資源機構木津川ダム総合管理所 <http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa>

③下流及び水道取水への影響の軽減

通常、水深0-4mから取水している取水位置を5-10mに深くするとともに、アオコを下流へ放流しないよう「遮水膜」を設置し、水道取水に影響が出ないよう工夫しています。〔別添資料2 参照〕

平成23年8月9日

独立行政法人 水資源機構

木津川ダム総合管理所



発表記者クラブ

奈良県政記者クラブ

桜井市政記者クラブ

名張市政記者クラブ

問い合わせ先

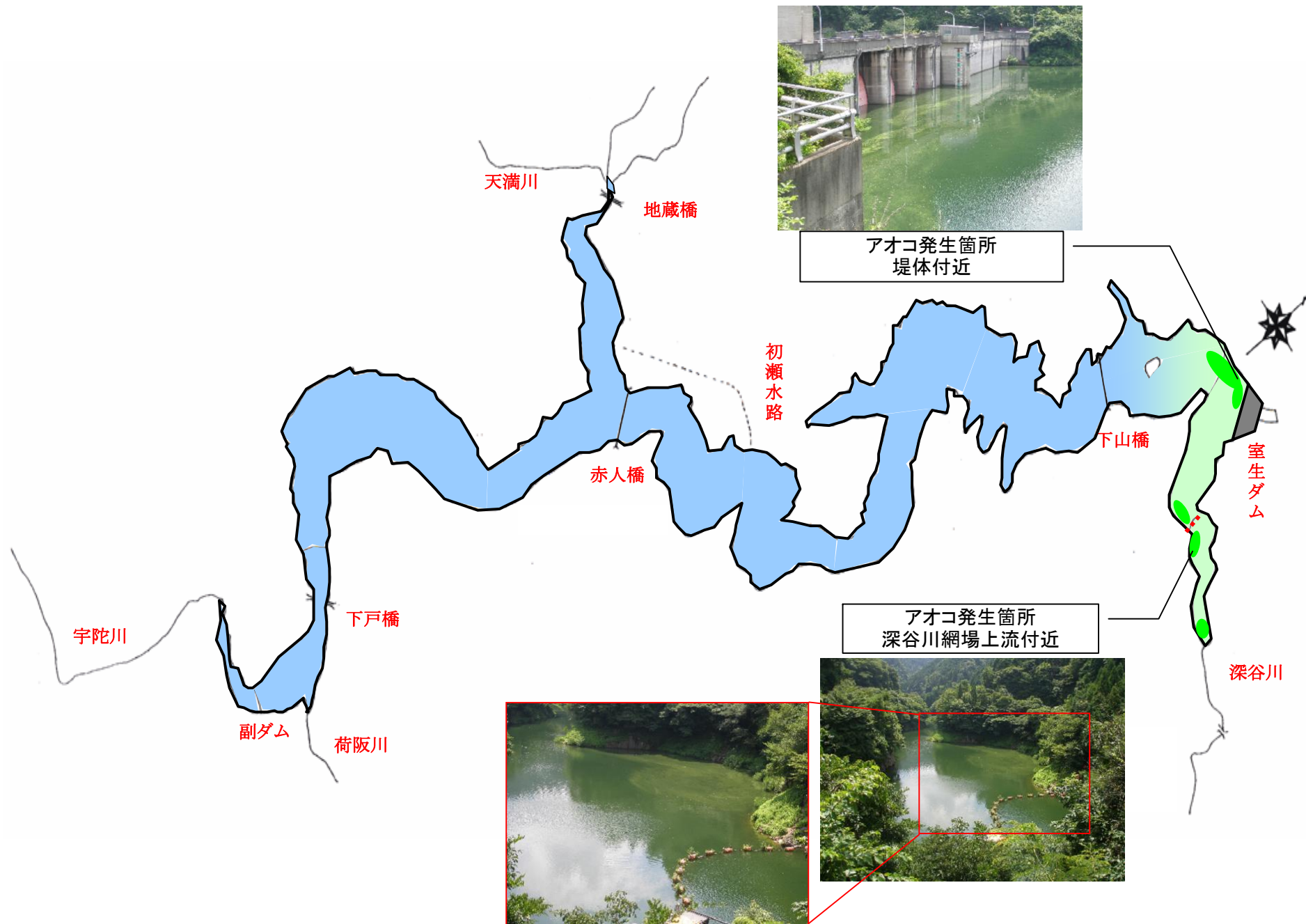
独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

室生ダム管理所長代理 菅生 一則（すごう かずのり）

住所：奈良県宇陀市室生大野3846

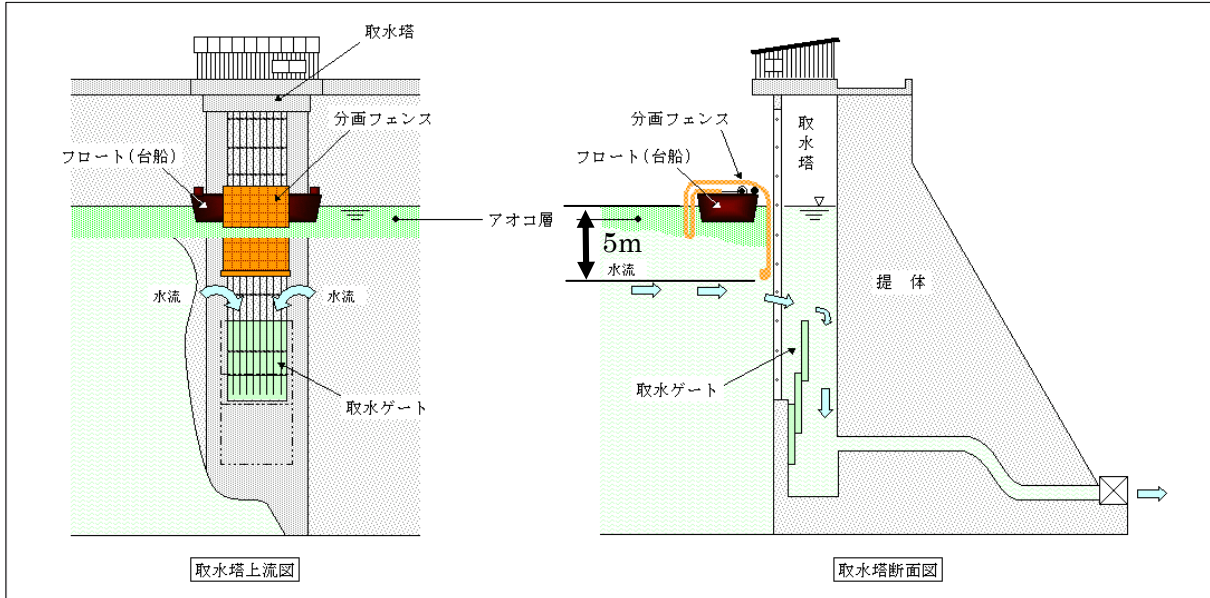
電話：0745-92-2320

室生ダム湖藻類発生分布状況図



別添資料 2

簡易選択取水設備（遮水膜）の設置



(参考) 遮水膜の設置状況



表面取水設備への遮水膜設置作業中



表面取水設備への遮水膜設置状況